

なよろ



名寄市観光キャラクター
「なよろ」



令和5年
第3回定例会
第70号
令和5年11月1日
発行



名寄市議会ホームページ

- 定例会で決まったこと 2
- 議決結果・意見書 3
- 一般質問に10人（9月19～21日） 4～8
- 令和4年度の決算を審査しました 9～10
- 各常任委員会活動報告 11～13
- 議会活性化特別委員会活動報告 14
- 議員協議会 15
- きぼう（河地 侑希子さん、佐々木 愛来さん） 16

題字 名寄小学校 菅原 梨央(すがわら りお)さん

令和5年 第3回定例会 9月4日～9月28日

▽11月からAI活用型オンデマンドバス運行開始予定
 ▼電子地域通貨「Yoroca（ヨロカ）」年内スタート目指す
 ▼8/5・6 豪雨により道路・河川が被災！
 災害復旧費追加補正
 ▼排雪ダンプ助成事業、新たに町内会も対象に

▽令和5年第3回定例会は、9月4日から9月28日までの25日間の会期で開会。22件の議案を審議
 ▼開会初日に加藤市長から行政報告
 ▼「名寄市認定こども園設置条例の制定について」を市民福祉常任委員会に付託
 ▼19日から21日には、一般質問で10人の議員が市政の課題について質問

条例の制定

☆名寄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等を定める条例の制定について
 市立保育所の利用者負担額と民間施設の利用者負担額について、それぞれの規定を一つの条例にまとめました。

主な議案の審議

☆工事請負契約の変更について

現在建設中の「名寄市幼保連携型認定こども園」の「建築主体工事」及び「機械設備工事」について、荷揚用クレーンや家具などの仕様変更、また屋外の空調設備機器の雪氷対策を追加したため、契約金額を変更しました。

主な補正予算

☆議会運営事業費

議長の内での公務による車代として、44万5千円を追

加しました。
 ☆市道除雪・排雪対策事業費
 燃料費、労務単価の上昇により、3896万2千円を追加しました。

排雪ダンプ助成事業の対象に新たに町内会を追加し、各町内会からの依頼による大型ダンプ1台あたり3000円を助成とするため、51万円を追加しました。

☆実証試験・展示事業費

名寄の重点振興作物であるアスパラガスの安定的な収量を確保し、産地ブランドの維持を図るため、JA道北なよろと協同で大苗の提供体制を整備・強化するもので、1905万円を追加しました。

JA道北なよろが負担する部分については、農業振興事業負担金として1216万2千円を計上しています。

☆商店街等活性化関連補助金

市内経済の活性化を図るため、市内で起業する創業者のスタートアップを支援するもので、186万6千円を追加しました。

☆青年後見制度利用支援事業費

助成の対象となる成年後見制度の利用者が想定を上回る見込みとなったため、45万3千円を追加しました。

☆公共土木施設災害復旧事業費

8月5・6日の豪雨により緊急的に稼働した排水ポンプ等に要した経費及び道路や河川、ピヤシリシャンツェに生じた被害の復旧のため6430万円を追加しました。

☆最終処分場管理運営事業費

内淵一般廃棄物最終処分場及び風連一般廃棄物最終処分場の施設修繕の増加により、23万3千円を追加しました。
 ☆ピヤシリスキー場整備事業費

圧雪車4台のメンテナンス及び修繕として、各種部品等の高騰及び一部駆動部分の経年劣化による摩耗部品の取り換えが必要のため、431万円を追加しました。

臨時会を開きました

令和5年第2回臨時会が8月2日に開催され、地域通貨導入にかかる臨時的経費で、加盟店舗で使用する端末の購入費について、国の補助金で賄えない部分を補助するため、令和5年度名寄市一般会計補正予算（第4号）について審議し、原案のとおり可決しました。

令和5年 第2回臨時会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	令和5年度名寄市一般会計補正予算(第4号)	原案可決

令和5年 第3回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について	原案可決
議案第2号	令和5年度名寄市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第3号	令和5年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第4号	令和5年度名寄市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第5号	令和5年度名寄市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第6号	令和4年度名寄市一般会計決算の認定について	認定
議案第7号	令和4年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について	認定
議案第8号	令和4年度名寄市介護保険特別会計決算の認定について	認定
議案第9号	令和4年度名寄市食肉センター事業特別会計決算の認定について	認定
議案第10号	令和4年度名寄市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定
議案第11号	令和4年度名寄市立大学特別会計決算の認定について	認定
議案第12号	令和4年度名寄市病院事業会計決算の認定について	認定
議案第13号	令和4年度名寄市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第14号	令和4年度名寄市下水道会計決算の認定について	認定
議案第15号	名寄市認定こども園設置条例の制定について	閉会中審査決定
議案第16号	名寄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等を定める条例の制定について	原案可決
議案第17号	名寄市パートタイム会計年度任用職員の報酬、手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第18号	名寄市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第19号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案第20号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案第21号	令和5年度名寄市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第22号	令和5年度名寄市立大学特別会計補正予算(第2号)	原案可決

《賛否の分かれた議案》

※○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席)

議案番号	件名	議員名	市民ネット			市政クラブ					議	公	共	市	な		
			富岡達彦	山崎真由美	倉澤宏	高野美枝子	水間健詞	谷聡	今村芳彦	清水一夫	遠藤隆男	東川孝義	東千春	山田典幸	高橋伸典	川村幸栄	佐藤靖
議案第6号	令和4年度名寄市一般会計決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○
議案第7号	令和4年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○

※公(公明) 共(日本共産党) 市(市民の声) な(共生なよろ) 議(議長) ※議長は表決に加わりません。

第3回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- ◎肥料価格高騰対策並びに畑地化促進事業等の財源確保を求める意見書
- ◎学校給食の無償化を求める意見書
- ◎ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
- ◎国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



夢のあるまちづくりを

市政クラブ 東川孝義 議員

中心市街地の活性化は

問 中心市街地の店舗数の推移と今後の見通しに対する支援策の対応について。電子地域通貨の取り組み状況と想定される経済効果は。中心市街地におけるまちづくりのロードマップの考え方は。

答 市内中心市街地の店舗数は20年前184店舗、10年前135店舗、今年度は103店舗と減少を続けている。活性化に向けて、人材育成・確保や後継者不足への対策として、支援事業の新設・拡充をしている。電子地域通貨は、現在175事業所への説明が終了し、より多くの市民に利用していただくことで消費額の増加が期待される。ロードマップについては、今年度末までに図書館を含めた複合施設を明示していく。

行政評価後の施策推進は

問 令和4年度行政評価結果に基づく令和5年度への具体



中心市街地活性化に向けて継続的な施策推進を

的な対応状況は。開業医誘致条例制定後の対応経過は。

答 令和4年度の行政評価は、令和3年度でC及びD評価となった事業を含め52事業の評価を行った。具体的な事業の見直しについては毎年行われる総合計画搭載事業のローリング作業で協議し、財源などの検討をしながら予算編成を行っている。開業医誘致制度については、昨年度、道内の医療法人からの問い合わせがあり、対応を引き続き行っている。



災害時の備えを万全に

市政クラブ 谷聡 議員

避難指示の周知をより確実に

問 避難が必要となった場合はスマートフォンに緊急メールで通知をすることになるとのことだが、スマートフォンを所持していない世帯への通知方法である名寄市防災情報配信システムへの登録をもっと呼びかけるべきでは。

答 情報配信システムだけでなく携帯電話への緊急速報メールのほかテレビのデータ放送、ラジオや広報車での呼びかけなども最大限活用して情報伝達に努める。

総合評価落札方式・電子入札の導入を

問 公共工事の積算で、適正な設計書金額の一部を控除する違法な行為である「歩切り」が根絶されているか。また、総合評価落札方式を導入することにより、災害時に協力している地元業者に加点できる仕組みを作るべきではないか。また、DX推進の一環として電子入札を取り入れてはどうか。

「総合評価落札方式」は価格だけで評価していた従来の落札方法と違い、品質を高めるための新しい技術やノウハウといった価格以外の要素を含めて評価する新しい落札方式のことです。

Before After

価格 価格 + 品質

総合評価落札方式のイメージ

答 「歩切り」は行っていない。総合評価落札方式は現在まで、発注まで時間がかかることから実施した事例はない。電子入札については導入するための経費の確保や必要な機器などの環境整備が必要であるが、メリットのあるシステムであり、将来的には導入が不可欠と考えているので、調査研究を進めていく。

他の質問 8月の集中豪雨における被害状況、新・担い手三法における発注者の責務

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



経済の隆盛が未来を紡ぐ



市政クラブ 今村芳彦 議員

本市特産品の強化を目指して

問 ふるさと納税の状況は。

答 平成29年度以降寄付額・寄付件数共に増加傾向だったが、令和4年度は伸び悩んだ。今年度は農産物に加え、名寄の自然を満喫できる体験型メニューを追加している。

経費増や返礼品取扱基準の厳格化もあり、新たな返礼品開発や用途指定など、魅力ある返礼品を通して名寄市のPRに繋がられるよう取り組みたい。

問 新たな特産品開発に向けた支援体制は。

答 中小企業振興条例に基づいた創業支援事業や、新商品の開発支援、販路拡大支援事業など新たな取り組みに対して支援を行っている。

市内経済団体や金融機関を通じて周知や事業計画策定のサポート、有利な国の支援紹介など、新たな取り組みへ支援し本市経済の活性化を目指している。

問 農産物簡易加工処理施設

の状況は。

答 味噌やトマトジュースなど規格外品の活用や付加価値化に利用されている一方、利用件数の低迷や老朽化を受け、集約化も含め快適に利用出来る施設管理を検討したい。

進む農地の集約化

問 農業経営基盤強化促進法の一部改正に伴う対応は。

答 農地の集約を更に加速させるため、10年後の担い手を想定した「目標地図」を添付する「地域計画」を定めることとなった。関係機関で構成する検討委員会を設置し、令和6年度の策定を予定している。

他の質問 「なよろ」の活用について、農地の取得について



みんなのチカラで目指せ
寄付額日本一！



本市の防災対応について



市政クラブ 清水一夫 議員

要支援者個別避難計画について

問 2021年改正の災害対策基本法で、市町村に2025年度までをめどに努力義務を定めた。本市の進捗状況について伺う。

答 進捗状況について、モデル地域として旭栄区町内会に協力をいただいで個別避難計画を作成した。市と関係機関との連携のほか、地域の方々の協力が不可欠と考えている。地域の防災力向上に向けて取り組みを推進したい。

市立総合病院の防水壁設置

問 本年7月秋田県で記録的な大雨、河川の氾濫で冠水した病院の入院患者の転院を自衛隊が支援しているテレビ放映をみて、防水壁があれば転院もなく、平常通り診療ができたと感じた。市立総合病院は関係自治体と連携して防水壁を道・国に要望してはどうか。見解を伺う。

答 浸水防止対策が、災害拠



在宅療養者の避難訓練（車イスが専用車に移乗中）

点病院の指定要件に加わったことや、救命救急センター、地方・地域センター病院としての役割を踏まえ、道や他の災害拠点病院と情報を共有し、有効な手立てを検討していきたい。

他の質問 水害ゴミの対応、名寄市立大学の今後の在り方について

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



弱い物弱者対策について

市政クラブ 水間健詞 議員

商業施設へのアクセス困難者について

問 高齢・障がいなどで移動制約がある、又、農村・郊外など商業施設が遠い市民の現状と対策は。

答 現在公共交通のカバー率は82・5%である。介護認定・障害者手帳所持の市民は訪問介護サービス「買い物代行」「買い物同行」が受けられる。

問 スケジュールや郊外・農村地区に関しての見通し、期待される効果は。

答 9、10月に市民説明会を予定し11月1日からの運行開始に向けて準備を進めている。運行開始後、利用者登録状況・利用状況・サービスの分析、利用者・地域の声

を含め継続した改善を実施する。今回対象としていない郊外・農村地区は名寄市地域公共交通活性化協議会で検討される。

問 移動販売に関して

答 高齢者・障がい者、農村・郊外在住者にも名寄地区までの移動手段の維持・改善、自由度の高い移動手段の提供が期待される。

問 移動販売ニーズの調査や民間事業者へのアプローチは。

答 行政から働きかけるケースは商業施設が撤退した場合が多い。現時点では計画等は無い。



市民みんながフットワーク良く経済活動に参加を



良好な学校生活に冷房設備を

公明 高橋伸典 議員

普通教室にエアコン設置を

問 地球温暖化に伴い、全道的な猛暑は、子どもたちの生活にも影響を及ぼしている。児童生徒が快適で不便のない学校生活を実現し、熱中症などで命を落とすリスクを最小限に抑えるため、エアコン設備の導入の考えは。

答 全学校にスポットクーラーを導入するなど、児童生徒にはこまめな水分補給など熱中症対策を行っている。しかしながらここ数年7・8月に真夏日が続くことから、今後児童生徒が良好な環境の中で学校生活を送るために、エアコンなどの冷房は大変に有効な手段である。国からの特定財源に注視し、可能な限り早期に普通教室のエアコンなどの冷房設備の整備に向け、庁内で検討する。

問 帯状疱疹ワクチン接種助成を

提供とワクチン接種の周知は。

全国では帯状疱疹生ワクチン・不活化ワクチンの全額、半額助成を272市町村で行われている。帯状疱疹ワクチン助成の考えは。

答 加齢や疲労、ストレスなど免疫機能が低下して起こるため、市の広報で症状や治療、日常生活の注意点を掲載している。

ワクチンは国の有効性、安全性の評価を経て予防接種法に基づき、市町村の定期接種に位置付けが不可欠であり、国の動向を注視する。

他の質問 全世帯に1万円灯油券の緊急配布を



全教室に冷房設備の早期設置を

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



命を守る市政



日本共産党

川村 幸栄 議員

猛暑対策は命に関わる問題

問 今夏の猛暑は過去最高で、残暑も厳しくなっている。8月21～27日の熱中症で救急搬送者は道内935人と全国最多。命に関わる問題で対策は急務。子どもたちの命を守るため学校にクーラーを、と文科省に要望している。生存権も教育を受ける権利も脅かされる。市の決意を伺う。

答 北海道市長会でも国などに対して緊急要請を行っている。市としても来年度に向けてどうするか、できるだけ早く結論を出したい。

問 熱中症の発生で最も多いのが住居内。高齢者の室内での熱中症を防ぐために、エアコン購入・設置費用を助成する自治体が増えている。高齢者世帯への対応について伺う。

答 北海道において助成をしている自治体は把握できないが、地球温暖化に伴う気象状況の変化は、北海道にも大き

な影響が及ぼされていると感じている。エアコンの重要性は理解するが、限られた財源のためエアコン購入に対する新たな助成は難しい。

問 公共施設などを活用したクールシエルト（避暑施設）設置の考えについて伺う。

答 公共施設開放の考え方について内部協議を進めていきたい。

他の質問 次期介護保険制度改正にむけて、北海道家庭教育サポート企業等制度について



利用しやすく、わかりやすい介護保険制度に



宗谷本線の維持に向けて



共生なよろ

中島 孝幸 議員

実証事業について

問 「宗谷本線調査・実証事業協議会」による実証事業が令和5年8月より複数行なわれている。その中に本年9月の30日間、名寄から稚内までの間で特急料金から10円を差し引いた額を助成するという事業がある。それが今後の特急利用の促進とどのように結びつくのか問う。

答 割引切符のない名寄・稚内間の利用ニーズの把握及び検証を目的としている。助成を利用した方に対してアンケート調査（特急利用の目的、普段使っている交通手段、特急利用の値下げが利用につながるか等）を実施し、課題を分析していく。

問 鉄道・バスの共通時刻表作成」の進捗状況は。

答 8月末に旭川・美深区分と音威子府・稚内区間分の2種類が完成した。

宗谷本線の観光利用について

問 観光利用に関しては調査・実証事業が行なわれないのか。

答 今年度中に観光利用に関する事業を追加する予定はないが、観光については、「宗谷本線活性化推進協議会」において取り組んでいる。

他の質問 名寄市立大学のさらなる発展に向けて



宗谷本線 北と南の結節点として重要な名寄駅

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



将来を見据えた施策を

市民ネット 山崎 真由美 議員

実行性ある空き家対策を

問 現在も「空き家バンク」

の制度はあるが、実際の登録数はほとんどない状況にある。空き家を生じさせない仕組みづくりに配慮し、「空き家バンク」活用に向けた改善策は、

答 次世代に空き家を負の財産として残さないために、「空き家バンク」の在り方や、ルールの見直しについて検討を進める。

問 (仮称)特定空家解体補助金制度を整える必要性がでてきている。考えは。

答 空き家が増えることを想定した制度設計の時期にきている。名寄の状況を鑑み、どのような補助制度内容としていくか、早急に検討する。

多面的活動の支援を

問 児童・生徒一人一台端末の家庭への持ち帰りによる学習に対し、通信環境に差を生じさせないよう、ルーターなどの貸し出しが必要と考える

がいかかか。

答 持ち帰り端末を有効に活用できるように、教材内容等の研究とともに、モバイルルーターの貸し出しについても次年度予算に向け研究を進める。

問 教育振興補助金については、小・中学生と高校生で旅費の補助率や引率者への対応に違いがある。今後、部活動の地域移行が進む中で、見直しが必要では。

答 教育部だけではなく、関連部署と連携し検討していく。

他の質問 学校にエアコン設置を



深刻さを増す空き家の状況



にぎわいづくり

市民ネット 高野 美枝子 議員

将来に希望が持てるまちづくり

問 近年の名寄駅周辺は人の

往来が激減、JR宗谷線存続の危機、人口減少、商店街衰退等将来が危ぶまれる状況。地域の財産を活かし、将来を見据えたまちづくりについて伺う。

答 社会情勢の変化や人口減少を鑑み機能や規模を検討し、複合化による効率的な中心市街地の賑わいづくりを進める。

問 王子マテリア名寄工場跡地利用

名寄工場撤退後の跡地利用について再生可能エネルギー、今年2月に名寄商工会議所が提案した「名寄インターチェンジ拠点整備構想」との関係についての物流・防災拠点、IoTデータセン

ターの状況について伺う。

答 再生可能エネルギーについては現在も検討中。「名寄インターチェンジ拠点整備構想」は19線付近に官民で整備する構想。道の駅的施設、温

浴施設、水産物加工施設、トラックターミナル、大型駐車場、防災基地施設を関係行政機関、民間企業が役割を分担し、広域の物流・防災・地域振興の拠点として整備する案内庁内で議論しているが、国交省、道、企業、団体、関係市町村と相談し、道縦貫道開通までに拠点整備できるよう具体的協議に入る。データセンターは誘致活動継続中。

他の質問 酷暑対策・有害鳥獣対策



名寄インターチェンジ周辺複合施設のイメージ図

令和4年度決算審査特別委員会

令和4年度の決算を認定

第3回定例会において、令和4年度の各会計決算について、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、内容を審査しました。

第1回委員会を9月4日に開催し、委員長に高野美枝子委員、副委員長に今村芳彦委員を選出しました。

第2回目以降は、9月25日から28日の4日間の実質審査に入り、各会派の代表による総括質疑及び委員による質疑が行われ、男女共同参画、移住・定住、ふるさと納税、農業、除排雪、教育、福祉行政、病院事業など、多岐にわたる課題について、事業の成果や今後の展望、市民生活の向上に向けた事業の継続や改善を求めするなど、適正な予算執行がされたかどうかを慎重に審査しました。

審査の結果、全会計決算中、一般会計と国民健康保険特別

会計については賛成多数により、その他の介護保険、食肉センター、後期高齢者医療、大学の4特別会計と病院、水道、下水道の3事業会計は全会一致で認定されました。審査結果は本会議で報告され、各会計決算は原案のとおり可決されました。



高野美枝子委員長(左)と今村芳彦副委員長(右)

決算審査特別委員会での質疑の一部を掲載します

ふるさと応援事業費

問 ふるさと納税は自治体の大きな収入源で、収入を増やす有効手段だと思う。今後の新たな取り組みを伺う。

答 寄附者の方に伝えるためのサイトへの周知や写真の見せ方、説明・PRの工夫、返礼品の付加価値や使い道などしっかり伝えていきたい。

市道除雪・排雪対策事業費

問 住宅街にある雪堆積場だが、雪の量が多く雪解けが遅いうえ、雪山が高いため非常に寒いと周りの住民は困っている。地域の方の声を聞いて欲しい。

答 すぐに解決はできないが、堆積場を増やすことができれば一か所の雪の量も軽減できると思うので、今後の雪堆積場の在り方を検討させていただきたい。

除雪サービス事業費

問 高齢者世帯や低所得者世帯、身障者世帯などへの除雪サービス事業で助成費用の拡大の考えは。

答 要件を満たした方を対象に除雪の一部を助成しているが、物価高騰対策として低所得者支援などを行っている。現段階では助成拡大については現状のままと考える。

給食センター運営事業費

問 学校給食でのアレルギー食の状況と内容について伺う。

答 アレルギー食を実施するにあたり、学校・給食センター・保護者の三者で協議をし、アレルギーの状況を確認。個別にアレルギー食の献立を立て、保護者に送付。間違いないか声掛けをし、アレルギー給食を提供している。

総括質疑



持続可能で健全な財政運営を

市政クラブ 遠藤隆男 委員

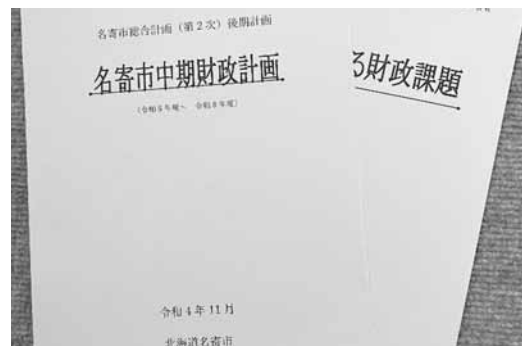
令和4年度決算を終えて

問 地方交付税の動向と今後の推移について伺う。

答 合併算定替えの優遇措置や交付税算入率の高い起債の活用による公債費の増、大学の学生数に対する算入単価の増などから、合併後の普通交付税については、年度での増減はあるものの上昇傾向にあった。しかし合併算定替えの優遇措置は令和2年度で終了し、急減補正の適用はあるものの国勢調査の結果による人口減少も今後の交付税の減少につながり、今までと同様の交付額の確保は難しいものと想定している。地方交付税は、本市の約40%を占める重要な一般財源のため、国の動向を注視していくが、現状において、決して楽観的な推計はできないものと考えている。

問 今後の基金運用の考え方について伺う。

答 様々な施策の展開をはじめ、社会保障施策経費、電力、暖房燃料などの高騰により大きな影響を受けている施設維持管理費の増加などのほか、老朽化が進む公共施設への対応として、これまで以上に基金に依存しながらの財政運営になるものと想定している。健全な財政運営を維持していくためにも、事業の選択と集中に努め、経費削減を図り、基金の有効な活用に努めていかなければならないと考えている。



持続可能で健全な財政運営を



健全な財政運営のために

市民ネット 倉澤宏 委員

決算概要について

問 令和5年度予算現額を含め、4年間の一般会計歳出決算額の平均は240億円を超えているが、今後この規模が本市の標準となるのか。

答 令和2年度以降の決算規模の増加は新型コロナウイルス対策事業実施によるもので一時的と考えており、予算総額は年度毎の事業の積み重ねで、今後とも財政規模に基準を設ける事は考えてはいない。

問 令和4年度に支出した補助金は前年度と比較し11件、4600万円増えており補助金の見直しは進んでいないように見受けられるが、補助金適正化に向けガイドラインの整備状況は。

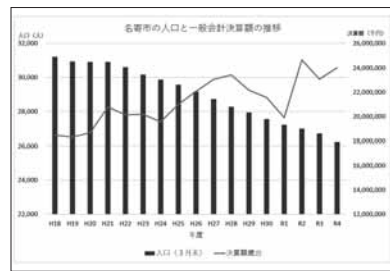
答 本市では補助金見直しのガイドラインは補助金の性質が多様であり、効果的なものにするのが困難なことから策定していないが、必要性は認識しており、他の自治体の事例を参考に調査研究していく。

問 総合計画(第2次)中期基本計画最終年だったが、各実施計画等の実績について決算を終えての市長の総括と評価は。

答 新型コロナウイルスの影響で目標を達成出来なかった計画もある一方、影響を最小限に抑える事業を展開して後期計画に繋がる決算となったと考える。後期計画に向け、今以上に選択と集中、スピード感を持って市政の推進を進めていく。

問 令和4年度に支出した補助金は前年度と比較し11件、4600万円増えており補助金の見直しは進んでいないように見受けられるが、補助金適正化に向けガイドラインの整備状況は。

答 本市では補助金見直しのガイドラインは補助金の性質が多様であり、効果的なものにするのが困難なことから策定していないが、必要性は認識しており、他の自治体の事例を参考に調査研究していく。



人口の減少と反比例し増え続ける一般会計歳出決算額

総務文教常任委員会活動報告

第3回委員会報告

7月27日に第3回委員会を名寄市立大学で開催し、野村学長、加藤副学長をはじめ、担当部長、事務局担当者出席のもと、名寄市立大学の将来構想（ビジョン2026）後期実施計画、大学院構想に関する検討状況の説明を受けました。

名寄市立大学の将来構想では、大学全体の運営に係る項目を8つの分野に分け、後期計画の最終年度が大学認証評価を受けける年に当たするため、そこに向けて教育活動の評価



魅力ある大学運営に向けて継続的な施策が期待される

基準を満たすべく重点をおいて進めており、部門ごとの説明を受けました。大学院構想については、令和7年4月の開設に向けて具体的な準備を進めているとの説明を受けました。

第4回委員会報告

8月24日の委員会では、名寄市立大学からは令和5年度オープンキャンパスの実施状況、高校訪問・進学相談会、学生の就職活動の報告を受けました。

教育部からは一人一台端末の持ち帰りについて、夏季休業期間中にモデル校を設定し、検証結果を受け、全小中学校での持ち帰りを段階的に実施していくとのことでした。

総務部からは令和5年度名寄市防災訓練、8月5日～6日にかけての大雨の影響についての報告を受けました。

総合政策部からはAIオンデマンドバス運行に向けての報告を受けました。

AIオンデマンドバスとは

従来の決められた時間と路線で運行するサービスではなく、予約があった場合にバス停のような決められたポイントで乗り降りができる路線バスとタクシーの中間的位置付けのバスとなります。

第5回委員会報告

9月15日の委員会では、名寄中学校改築事業の基本設計案についての説明を受け、質疑を行いました。新校舎の建設地は、現体育館西側隣接地で令和6～8年度の3か年で校舎・体育館の新築、グラウンドの改修、現学校の解体を行うとの報告を受けました。



改築に向けて準備が進む名寄中学校

議会日誌 8～10月

8/1	経済建設常任委員会	8/29	市民福祉常任委員会	9/21	各会派代表者会議	10/11	市民福祉常任委員会
8/2	第2回臨時会	9/1	議会活性化特別委員会	9/25	～28	10/13	市民福祉常任委員会
	議会運営委員会		議会運営委員会	9/25	決算審査特別委員会		北海道市議会議長会道北支部
8/8	議会活性化特別委員会	9/4	議会報特別委員会	9/25	議会活性化特別委員会		議長会(秋季)(旭川市)
	経済建設常任委員会		第3回定例会開会	9/26	議会運営委員会	10/16	上川北部市町村議会議長会(士別市)
8/18	議会運営委員会	9/5	議員協議会	9/26	議会報特別委員会	10/17	議会報特別委員会
8/22	市民福祉常任委員会	9/15	市民福祉常任委員会	9/28	第3回定例会閉会	10/23	全国市議会議長会基地協議会北海道
8/24	総務文教常任委員会	9/19	総務文教常任委員会		議会運営委員会		部会定期総会(岩見沢市)
8/25	経済建設常任委員会	9/20	各会派代表者会議		市民福祉常任委員会	10/25	全国市議会議長会研究
8/28	各会派代表者会議		議会報特別委員会	10/5	議員協議会		フォーラム(北九州市)
			各会派代表者会議		全国自治体病院経営都市	10/31	第17回地域医療セミナー(東京都)
			議会運営委員会		議会協議会正副会長・監事・		
			経済建設常任委員会		相談役会議(松江市)		

市民福祉常任委員会活動報告

第4回委員会報告

8月22日に委員会を開催し、市立総合病院から「名寄市病院事業経営強化プラン」パブリック・コメント実施結果、令和4年度患者満足度調査結果、補正予算について説明を受け、質疑を行いました。

市民部から旧焼却施設解体工事の完了、令和4年市税収納状況と道内都市における名寄市の収納率、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。



「基本理念」患者さん中心の医療を提供し、地域医療に貢献

第5回委員会報告

健康福祉部から名寄市電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金、低所得者の子育て世帯生活支援特別給付金、新型コロナウイルス令和5年春開始接種、独立行政法人国際協力機構（JICA）の「草の根技術協力事業」への応募、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。

8月28日に委員会を開催し、市立総合病院眞岸克明病院長から地域医療の現状「北・北海道における名寄市立総合病院の役割」の講演を受け、質疑を行いました。

第7回委員会報告

9月28日に委員会を開催し、市立総合病院から病棟再編に伴う一般病棟の一部休床について、看護師の9月末退職者・病気休職・育児休暇・働き方改革に伴う現在の状況等の説明を受け、質疑を行いました。

所管事務調査事項

「空き家対策」

本委員会では、テーマを「空き家対策について」とし、少子高齢化社会や2025年問題の影響による人口減少問題の加速による空き家対策をテーマに調査研究を進めていきます。

9月5日に第1回目の委員会を開催し空き家対策特別措置法、特別措置法の一部を改正する法律、空き家対策総合支援事業（国土交通省）、本市の対応と措置状況、財産管理制度の見直し、相続人不在の相続財産清算の見直しなど研修し、質疑を行った後、4か所の空き家の現地状況を視察しました。



空き家等の適正管理と市民の安全対策が急務

議会運営委員会活動報告

令和5年第3回定例会の日程及び議事運営などを協議するため、9月1日から28日の間、委員会を4回開催しました。

9月1日の委員会では、会期を9月4日から9月28日までの25日間とすること、一般質問は19日から21日の3日間とし10名の議員が登壇することを確認しました。

上程議案は、北海道市町村職員退職手当組合規約の変更他4件と報告4件について審議を行うことを確認し、また、令和4年度名寄市一般会計決算の他、5特別会計決算と3事業会計決算を全議員で構成する決算審査特別委員会に付託し審査することとしました。

9月20日の委員会では、報告2件について審議を行うことを確認、9月26日は、定例会最終日の追加議案8件と「名寄市認定こども園設置条例の制定について」を市民福祉常任委員会に付託し、審査することを確認、9月28日には、委員の派遣について確認をしました。

経済建設常任委員会活動報告

調査研究テーマ決定

7月10日、第3回委員会において、調査研究テーマを「基幹産業である農業に着目した産業振興について」に決定しました。更に、サブテーマを「名寄市の特色を活かし、地域の課題解決を目指す農業施策の展開について」とし、今後、調査研究をはじめ具体的な取り組みを進めていくことを確認しました。

本市農業の現状把握

8月1日開催の第4回委員会では経済部担当者と、また、8日開催の第5回委員会ではJ A道北なよろ担当者と本市の農業の現状と課題について意見交換を行い理解を深めました。

少子高齢化の中で生じる労働力不足や担い手対策、農家戸数の推移と耕地面積の状況、価格が高騰する肥料・飼料・燃料による影響等、農業を取り巻く社会情勢も含め、多岐

にわたる意見交換を行うことができました。

今後関係団体との連携を図りながら、本市農業の強みを活かした施策の展開に取り組んでいきます。

所管事項の現地調査

8月25日に第6回委員会を開催し、経済部より令和5年8月5日大雨による農業への影響について、有害鳥獣農業被害防止対策実施状況について、それぞれ報告を受けました。

また、建設水道部からは、8月5日発生大雨災害の状況



10月31日完成を目指し建設が進む瑞生団地

について、令和5年度第1回名寄市上下水道事業経営審議会経過について報告を受けました。その後、所管事項などの現地調査を実施しました。

徳田18線緑丘連絡線道路歩道設置工事では、J R名寄高校駅から名寄高校へ向かう道道旭名寄線までの間に、長さ約70m・幅2mの歩道の完成を確認しました。

瑞生団地整備工事では、風連町西町に現在建設が進められている木造平屋建1棟3戸（今年度2棟建設）の現地調査を行いました。

農業振興センターでは、カノコソウ培養苗の取り組みについて説明を受けた後、圃場での増殖状況を確認しました。



クリーンなカノコソウの苗を作成した後、増殖された圃場

林活議連冬囲い

8月30日、林活議連で植樹を行ったエゾヤマザクラの冬囲いを行いました。天気にも恵まれ、まだまだ残暑の中でしたが、日照時間は確実に縮まり秋の気配をわずかに感じながらの作業でした。名寄を含む上川北部の気候は秋にぐずつくことが多く、9月に入れば日の短さと相まって雪で覆われる冬までまっしぐらです。暖冬の声もありますが雪質日本一を自称する雪と、植樹した木との間の良好な関係を保つための作業です。皆で軽い汗をかけた晩夏の午後でした。



残暑の中、一足早く冬支度

議会活性化特別委員会活動報告

議会活性化特別委員会は、令和5年第2回定例会最終日に、委員7名で発足しました。

【現状把握と課題】の整理では、議会は十分に開かれたものになっているのか。市民に関心を持たれ、市民にとって身近なものになっているのか。市民からは、議会が何をしているのか見えない、議員は何をしているのか分からないと言う声が、いまだに聞こえてきます。

定数2名減で行われた今春の選挙が無投票となり、要因は様々あると思いますが、特に若い世代のなり手不足は深刻な状況であり、若年層にとって議会・議員の活動が理解され、魅力あるものになっているのか等、様々な課題が上げられました。

そこで【目的】については「議会の活性化に向けて、行政監視や政策立案といった機能の強化、女性や若年層の世代が活動に参加しやすい環境の構築等を図ることで、議員力・議会力を向上させる」こ

とを設定し、活動を進める事としました。

目的達成に向けての【具体的取り組み】事項として①議員の資質向上を目指した研修会の開催（10月17日開催）②道内の先進地視察（令和6年1月実施予定）③常任委員会の視察報告を情報の共有化を更に深める意味で、議員協議会で行う④現行の3常任委員会（1常任委員会5名での活動）の在り方について⑤定例会会期日程の短縮（拘束日程の短縮）⑥議会モニター制度の導入の6項目を設定し、具体的な取り組みを進めております。

議会活性化の原点は議員個々の日常活動にあると思いますが、議員の活動は個人の考え及び行動に委ねられており、踏み込んだ議論が出来る状況ではありません。しかし、議会活性化特別委員会では議員の日常活動を含めた議論を行い、魅力ある議員活動が見えるのではと思っております。

市民の声を市政に届けます!!

議会を傍聴しませんか!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また臨時会も必要に応じて開催されます。

- ◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
- ◇本会議の開催日など、詳しくは議会事務局（☎01654-3-2111）へお問い合わせください。



議員協議会

9月4日

9月4日に議員協議会が開催され、名寄市社会福祉事業団の経営状況と、第2次行財政改革推進基本計画（前期実施計画）の2点についての説明と質疑が行われました。

社会福祉事業団の経営状況についての説明では、今年に入ってから清峰園としらかばハイツでの新型コロナウイルスの集団感染について、今年5月から清峰園で働き始めた3名のネパール人介護士の優秀な働きぶり、また、介護職員確保に向けた取り組みや各施設の運営状況などについての説明がありました。

第2次行財政改革推進基本計画（前期実施計画）についての説明では、効率的で質の高い行政運営の推進、持続可能な財政運営の推進、市民と協働の行政運営の推進の3つの基本方針の進捗状況などについての説明があり、議員からはPFI（民間資金等の活用による公共施設等の整備）の促進、職員のメンタルヘル

ス等についての質問がありました。



第3回名寄市議会議員協議会

議員協議会

9月28日

9月28日に行なわれた議員協議会の主な内容は「電子地域通貨」と「AI活用型オンデマンド交通」についての報告でした。

電子地域通貨の名称は、公募して314件の応募があった中から「Yoroca（ヨロカ）」に決まりました。「行政ポイント」については、名寄市医療介護連携ICTへの登録者、市が主催する健康イベントへの参加者、1日のウォーキングで歩数成果達成

者等にポイントが付与され、順次「行政ポイント」事業は拡大される予定です。

AI活用型オンデマンド交通は令和5年11月から運行開始予定です。前もって予約（アプリ・LINE・電話）をして、市内300メートル間隔で設置される乗降場所（既存のバス停より増える）を選び、AIが選択したルートに従って走る乗客定員8名の車両（「のるーと」）に乗ります。大人300円、小児200円の予定です。

他に議員協議会では、（仮称）名寄地区一般廃棄物中間処理施設建設に係る工事請負契約締結について、報告がありました。



市役所4階大会議室での議員協議会

取材しました

7月11日、防災訓練が名寄東小学校で行われました。

今年は北海道開発局の協力をいただき、降雨や浸水の再現装置を運用した、より実際に近い体験から防災を考える機会となりました。

このほか、3D映像による土砂災害の再現視聴や、体育館での段ボールベッド設営、救助用品の展示、地域防災マスタ―による非常持ち出し品のディスプレイなどを行いました。

名寄市は河川洪水の被害が最も懸念されています。いつ災害が起こるかわからないからこそ日頃からの備えが大切です。改めて防災や減災を考える良い機会になりました。



減災・防災は毎日の心掛けから

☆ き ぽ う ☆



たのしい子育て

かわち ゆきこ
河地 侑希子

私は2013年に結婚して名寄に来ました。初めての土地で知り合いもなく、最初は寂しい思いもしました。2019年5月に双子を出産し、頼れる人がいない状況ではありましたが、ひまわりランドの存在は大きく、精神的な支えになりました。そこで友人も出来、にこにこランドが出来てからはお友達と遊びに行ったりしました。サンピラーパークが近いので家族で週5で通っている時もありました！名寄は無料で遊べる場所も多いし車も止めやすいので、良い意味でコンパクトな街で子育てしやすいと感じています。家を購入してからは近所の方々にもとても良くしていただいて、名寄の方々が子供達のおじいちゃんおばあちゃんのような近い存在のように感じます。そんな名寄で子育てするのが楽しく、これからも家族みんなの名寄を楽しめたらと思っています。



頑張ることの楽しさ

ささき あいら
佐々木 愛来

私には熱心に取り組んでいることがあります。それは「剣道」です。両親に勧められたことをきっかけに小学1年生から今まで続けています。初めは痛いし疲れるしで、ネガティブなイメージが私の中にありましたが、6年生の頃に剣道の魅力に気づき、勝つために人よりも努力をするようになりました。

剣道に熱心に取り組むようになってから3年半近くが経ち、勝つ楽しさも負ける悔しさもたくさん味わってきましたが、剣道という種目に夢中になることができ、本当に良かったと思います。また、継続して努力することの大切さも学ぶことができました。

私には「警察官」になるという夢があります。剣道で学んだ経験を生かして夢に向かって努力し続けたいです。

表紙の写真は「風連獅子舞」です。

名寄市無形文化財の風連獅子舞は、富山県からの入植者が多い風連下多寄地区で継承されている伝統芸能です。明治41年、下多寄神社の創建にあたって当時の青年団有志が発起人となり、郷里の獅子舞を奉納しました。それから115年の月日が流れた今日でも、地域青少年による獅子若連中に受け継がれています。毎年9月6日の神社祭事にあわせて、地域の安泰と五穀豊穡を祈願し、奉納の舞が披露されています。是非、鎮守の杜で勇壮に舞う風連獅子舞をご覧にお越しください。



編集後記

名寄市議会16名の新体制になって2度目の定例議会が終わりまりました。令和4年度の決算審査も行われ全ての会計決算が認定されました▼一般質問には10名の議員が通告し、今夏の猛暑対策、中心市街地活性化、農業問題や名寄市立大学の発展などが取り上げられ市の考えを質しました▼決算審査も含め定例議会の様子については議会だよりをはじめ、インターネットで中継・録画もされています。ぜひご覧ください▼新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、行政視察にも取り組みを進めています。3常任委員会や議会報特別委員会が先進地から学び合っています▼新体制となった名寄市議会は女性や若者など誰でも参加できる議会を目指し、議会の活性化に取り組んでいます。また、町内会へ少人数の議員で訪問し率直なご意見を伺おうと取り組みを進めていますので、どうぞ期待ください。

(幸)

